



平成 24 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名：株式会社トプコン  
代表者名：取締役社長 内田 憲男  
(コード番号：7732 東証第一部)  
問合せ先：経理グループ統括  
取締役兼専務執行役員 小川 隆之  
(電話 03(3558)2536)

## 第 2 四半期累計期間業績予想値と決算値との差異、業績予想の修正、 ならびに特別損失の計上に関するお知らせ

平成 24 年 7 月 31 日に公表致しました平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日）の連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせ致します。

また、同じく平成 24 年 7 月 31 日に公表致しました通期（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）の連結業績予想を修正致しましたので、併せてお知らせ致します。

また、平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計期間において、特別損失を計上致しましたので、併せてお知らせ致します。

### 記

#### 1. 連結業績予想数値と実績数値の差異

(1) 平成 25 年 3 月期 第 2 四半期累計期間（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

|                                     | 売上高    | 営業利益   | 経常利益   | 四半期純利益 | 1 株当たり<br>四半期純利益 |
|-------------------------------------|--------|--------|--------|--------|------------------|
| 前回発表予想 (A)<br>(平成 24 年 7 月 31 日 発表) | 51,000 | 2,000  | 1,400  | 400    | 4 円 32 銭         |
| 実績 (B)                              | 46,121 | 1,505  | 486    | △1,221 | △13 円 19 銭       |
| 増減額 (B - A)                         | △4,878 | △494   | △913   | △1,621 | ——               |
| 増減率 (%)                             | △9.6%  | △24.7% | △65.2% | ——     | ——               |
| (ご参考) 前期第 2 四半期実績                   | 49,577 | 517    | △688   | △1,960 | △21 円 17 銭       |

#### (2) 業績予想値との差異が生じた理由

当第 2 四半期累計期間実績値は、平成 24 年 7 月 31 日に公表致しました業績予想値に対し、売上高は、主に為替の影響、欧州市況の回復の遅れ及び中国の市況の悪化の影響等により、△4,878 百万円の減収となりました。利益面では、主に為替の影響により、営業利益は、業績予想値に対し△494 百万円の減益、経常利益は△913 百万円の減益となり、これに加え、投資有価証券評価損（「3. 特別損失の計上 (2)」参照）を特別損失に計上を行なったこと等により、四半期純利益は、△1,621 百万円の減益となりました。

## 2. 連結業績予想数値の修正

(1) 平成 25 年 3 月期 通期 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

|                                     | 売上高     | 営業利益   | 経常利益   | 当期純利益  | 1株当たり<br>当期純利益 |
|-------------------------------------|---------|--------|--------|--------|----------------|
| 前回発表予想 (A)<br>(平成 24 年 7 月 31 日 発表) | 108,000 | 8,000  | 6,800  | 3,000  | 32 円 39 銭      |
| 今回修正予想 (B)                          | 98,000  | 5,000  | 3,200  | 500    | 5 円 40 銭       |
| 増減額 (B - A)                         | △10,000 | △3,000 | △3,600 | △2,500 | ——             |
| 増減率 (%)                             | △9.3%   | △37.5% | △52.9% | △83.3% | ——             |
| (ご参考) 前期実績                          | 98,834  | 2,080  | 467    | △3,686 | △39 円 80 銭     |

### (2) 業績予想の修正の理由

最近の為替動向を鑑み、業績見通しの前提となる為替レートを見直し、主要な為替レートを 75 円/米ドル、95 円/ユーロ (前回予想時は 80 円/米ドル、110 円/ユーロ) に変更致しました。

この為替レートの見直しならびに第 2 四半期累計期間の業績及び第 2 四半期累計期間の業績予想未達の要因の一つとなった欧州・中国市況の低迷の影響を反映し、平成 24 年 7 月 31 日に公表した当年度の通期の連結業績予想を修正致します。

## 3. 特別損失の計上

(1) 平成 24 年 10 月 31 日開催の取締役会において、当社の連結子会社である(株)ソキア・トプコンの松田事業所を、当社の敷地内へ移転することを決議致しました。これに伴い、移転に掛かる費用の見込額として、主に、土地・建物等の減損損失及び設備の移動費用等を、平成 25 年 3 月期第 2 四半期において、特別損失に 486 百万円計上致しました。

当社グループは、事業の“Reform (改革)”と“Enhancement (強化)”を旗印に、安定した収益基盤及び健全な財務体質を早期に確立し、外部環境に左右されない、より強固な企業体質に変革すべく取り組んでおります。この“Reform (改革)”の取組みの一つとして掲げている生産拠点の最適化の推進を実現するため、(株)ソキア・トプコンの松田事業所を移転し、生産拠点を集約することが最善であると判断致しました。

(2) 平成 25 年 3 月期第 2 四半期において、「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、減損処理により有価証券評価損を計上する必要が生じ、特別損失として計上致しました。

### 平成 25 年 3 月期第 2 四半期における有価証券評価損

|  | 連結      | 個別      |
|--|---------|---------|
| 平成 25 年 3 月期第 2 四半期会計期間 (平成 24 年 7 月 1 日から平成 24 年 9 月 30 日まで) の投資有価証券評価損の総額<br>(= A - B) | 576 百万円 | 576 百万円 |
| (A) 平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計期間 (平成 24 年 4 月 1 日から平成 24 年 9 月 30 日まで) の投資有価証券評価損の総額          | 646 百万円 | 646 百万円 |
| (B) 平成 25 年 3 月期第 1 四半期累計期間 (平成 24 年 4 月 1 日から平成 24 年 6 月 30 日まで) の投資有価証券評価損の総額          | 70 百万円  | 70 百万円  |

\* 四半期における有価証券の評価方法は、洗い替え方式を採用しております。

\* 当社の決算期末は、3 月 31 日です。

以上